

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[関連製品 \(オプション \)](#)

[表記法](#)

[エラー コード体系](#)

[1000 Cloud Portal Web サービス関連の障害](#)

[2000 一般的なプロセスの障害](#)

[4000 その他の障害](#)

[5000](#)

[6000 Cisco Network Services Manager \(NSM \) 関連の障害](#)

[7000 Cisco Server Provisioner 関連の障害](#)

[8000 Cisco UCS または物理サーバ関連の障害](#)

[9000 ハイパーバイザ関連の障害](#)

[システム健全性のエラー コード](#)

[VMware vCenter サーバ](#)

[Cisco Server Provisioner](#)

[Cisco UCS Manager](#)

[Cisco Process Orchestrator](#)

[システム健全性チェック](#)

[プラットフォーム要素の検証](#)

[Orchestrator の確認](#)

[共有場所の確認](#)

[Eメールの確認](#)

[クラウド インフラストラクチャの接続](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントは、Cisco Intelligent Automation for Cloud プラットフォーム内のシステム メッセージを一覧で示して説明します。システム ソフトウェアは動作中に、これらのメッセージをポータル ユーザ インターフェイス (また、メッセージによってはシステムのユーザに) に送信します。ただし、すべてのメッセージがシステムの問題を表すとは限りません。一部のメッセージは単に情報を提供するのみですが、推奨される修正が付いているため問題の診断に役立つメッセージもあります。Cisco Intelligent Automation for Cloud 内でのサービス実行が失敗すると、事前定義されたエラー コードが障害ポイントで割り当てられて返されるため、ユーザは発生した現象をすばやく正確にトラブルシューティングできます。このドキュメントでは、定義されたすべてのエラー コードおよびその説明と、可能な修正方法を一覧で示します。

[はじめに](#)

要件

この情報は、Cisco Intelligent Automation for Cloud の日常の動作中に発生した特定のエラーを理解するために、クラウドプロバイダーテクニカル管理者が使用することを目的としています。エンドユーザがクラウドサービスを要求して問題が発生した場合、表示されたエラーコードおよびメッセージを使用してカスタマーサポートに連絡してください。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、Cisco Intelligent Automation for Cloud バージョン 3.0 ~ 3.1.1 に関するものです。

関連製品 (オプション)

このドキュメントは、Cisco Intelligent Automation for Cloud バージョン 3.0 ~ 3.1.1 に関するものです。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

エラーコード体系

IAC 内のエラーコードは、次に示す上位レベルの分類に分かれています。

書式	説明
1xx x	Cloud Portal Web サービス関連の障害
2xx x	一般的なプロセスの障害
3xx x	未使用、予約済み
4xx x	未使用、予約済み
5xx x	その他の障害または検証
6xx x	Cisco Network Systems Manager (NSM) 関連の障害
7xx x	Cisco Server Provisioner 関連の障害
8xx x	Cisco UCS または物理サーバ関連の障害
9xx x	ハイパーバイザ関連の障害

1000 Cloud Portal Web サービス関連の障害

エラー 関連動 作 コード	エラーの説明	可能な修復方法
1000	変更要求の更新 Cloud Portal 変更要求の更新に失敗しました。	変更要求のタスク ID を確認します。要求にタスク ID への無効な参照が含まれている場合があります。
1001	サービス要求 メモの追加 Cloud Portal サービス要求へのメモの追加に失敗しました。	変更要求のタスク ID を確認します。要求にタスク ID への無効な参照が含まれている場合があります。
1002	Web HTTP 要求 Cloud Portal サーバへの HTTP 接続のオープンに失敗しました。	要求先の URI とパラメータを確認します。また、目的の Cloud Portal サービスのエージェントが開始されていることを確認します。
1003	Web HTTP 要求 nsAPI 認証に失敗しました。	nsapi ユーザが正しい組織ユニットのメンバーであることを確認します。
1005	サービス要求 パラメータの更新 Cloud Portal サービス要求の更新に失敗しました。	サービス要求のタスク ID を確認します。要求にタスク ID への無効な参照が含まれている場合もあります。
1006	Web HTTP 要求 RAPI 認証に失敗しました。	RAPI ユーザのユーザおよびパスワードを確認します。
1007	Web HTTP 要求 RAPI 権限に障害が発生しました。	RAPI ユーザのグループメンバーシップを確認します。
1008	サービス要求の 実行 Cloud Portal サービス要求に完了のマークを付けられませんでした。	サービス要求の完了のマークが以前付けられていないことを確認します。

		した。	
1009	一般的な Web サービスの障害	Web サービスの実行エラーです。	要求先の URI とパラメータを確認します。また、目的の Cloud Portal サービスのエージェントが開始されていることを確認します。
1010	SOAP 障害の検出	無効な SOAP データが返されました。	要求されたデータの要求パラメータと組織ユニットを確認します。サービス項目のサービス要求アクションに対してアクションを要求している場合、アクションが以前完了したものでないことを確認します。たとえば、サービス要求に完了のマークがすでに付いていることがあります。
1011	サービス項目の更新	要求されたサービス項目の更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> サービス項目の組織ユニットを確認します。 サービス項目が存在することを確認します。
1012	サービス項目データの取得	要求されたサービス項目データの取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> サービス項目の組織ユニットを確認します。 有効な応答が返されたがレコード数が 0 の場合、SI テーブルのレコードの OU が正しくない場合があります。
1013	サービス項目の作成	要求されたサービス項目の作成に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 含まれるすべてのフィールドは大文字の正しいスペルであることが必要で、Name フィールドは必須です。 Name フィールドに重複がないことを確認します。すべての Names は完全に一意である必要があります。
1014	サービス項目の更新	要求されたサービス項目の更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> まだ存在しないレコードは更新できません。 含まれるすべてのフィールドは大文字の正しいスペルであることが必要で、Name フィールドは必須です。変更のないフィールドはそのままになりますが、フィールドが送信されて空白の場合、SI レコードのそのフィールドの内容を

			<p>ブランクに変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ドロップボックスの位置が最近変更された場合、CIM File Import - Service Item エージェントを再起動します。
1015	サービス項目の削除	要求されたサービス項目の削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • サービス項目の組織ユニットを確認します。 • サービス項目が存在することを確認します。
1016	テーブル検出 XML によるサービス項目の更新	要求されたサービス項目の更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • サービス項目の組織ユニットを確認します。 • サービス項目が存在することを確認します。 • 要求に不正な XML が含まれていた可能性があります。その項目名またはデータに、不正な XML の原因となる特殊文字が含まれていないことを確認します。たとえば <>&[]" などです。
1017	サービス要求の送信	Cloud Portal サービス要求の送信に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 目的の Cloud Portal サービスのエージェントが開始されていることを確認します。 • 要求された Cloud Portal サービスの名前を確認します。 • Cloud Portal サービス要求のパラメータを確認します。
1018	プロパティによるサービス項目の削除	サービス項目を削除できませんでした。	削除するサービス項目が存在することを確認します。クラウドサービスポータルユーザのクレデンシャルを確認します。
1019	NSAPI ホーム OU の確認	NSAPI ユーザのホーム OU がクラウド管理者の組織ではありません。	インフラストラクチャ テーブルを正しく取り込むには、NSAPI ユーザのホーム OU がクラウド管理者の OU と一致する必要があります。ホーム OU が一致するように変更します。

2000 一般的なプロセスの障害

エラーコード	プロセス名	エラーの説明	可能な修復方法
2000	保存された同期データの設定	保存された同期データの設定プロセスの一般的な障害です。	オブジェクトタイプに特殊文字が何も含まれていないことを確認します。
2001	古い同期データのリセット	古い同期データのリセットプロセスの一般的な障害です。	オブジェクトタイプに特殊文字が何も含まれていないことを確認します。
2002	リース管理の初期化	リース管理の初期化プロセスの一般的な障害です。	リース入力パラメータに有効な日付が含まれていることを確認します。
2003	古い同期データの取得	古い同期データの取得プロセスの一般的な障害です。	オブジェクトタイプに特殊文字が何も含まれていないことを確認します。
2004	クラウドポータル更新サービス要求履歴	クラウドポータル更新サービス要求履歴の一般的な障害です。	サービス要求が存在することを確認します。
2005	サービス項目定義XMLの作成	サービス項目定義XMLの作成の一般的な障害です。	入力データに不正なXMLの原因となる特殊文字が何も含まれていないことを確認します。たとえば<>&[]" などです。
2006	サービス項目XMLの作成	サービス項目XMLの作成プロセスの一般的な障害です。	入力データに不正なXMLの原因となる特殊文字が何も含まれていないことを確認します。たとえば<>&[]" などです。
2007	Cisco PO グローバル変数の設定	Cisco PO グローバル変数の設定プロセスの一般的な障害です。	入力データに不正なXMLの原因となる特殊文字が何も含まれていないことを確認します。たとえば<>&[]" などです。
2008	vSphere Powershellのインス	vSphere Powershellのインストーラのクエリプロセスの一般的な障害です。	<ul style="list-style-type: none"> Windows レジストリにクエリを実行するための正しい権限をユーザが持っていることを確認します。

	トールのクエリ	す。	<ul style="list-style-type: none"> PowerCLI 5.1 以降がインストールされていることを確認します。
--	---------	----	----------------------------------------------------------------------------------------

4000 その他の障害

エラーコード	関連動作	エラーの説明	可能な修復方法
4002	Web HTTP 要求	nsAPI 認証が失敗しました。	nsapi ユーザが正しい組織ユニットのメンバーであることを確認します。

5000 その他の障害

エラーコード	関連動作	エラーの説明	可能な修復方法
5000	XPATH クエリ	期待された値が見つかりませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 必須としてリストされたすべてのパラメータがソース XML にあることを確認します。 ソース XML に不正な XML の原因となる特殊文字が何も含まれていないことを確認します。たとえば <&[] などです。
5001	ターゲットの検出	ターゲットの検出に失敗しました。	指定した条件に一致するターゲットが存在することを確認します。
5000	リース要求の作成	新規リース要求の作成に失敗しました。	入力パラメータに不正な XML の原因となる特殊文字が何も含まれて

2			いないことを確認します。たとえば <>&[]"" などです。
50003	Windows PowerShell スクリプトの実行	Windows PowerShell スクリプトの実行に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> スクリプトの構文エラーが含まれていないことを確認します。 スクリプトの実行に使用されるユーザ名およびパスワードを確認します。 サーバが期待されたとおり接続を閉じたことを示すメッセージが Connect-Viserver cmdlet に存在する場合、プロトコルがポートに一致することを確認します。たとえば、ポートが 443 の場合、プロトコルは https である必要があります。
5004	Windows コマンドの実行	Windows コマンドの実行に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 実行するコマンドを確認します。 作業ディレクトリが正しいこと、および存在することを確認します。
5005	UNIX または Linux SSH コマンドの実行	SSH コマンドの実行に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 実行するコマンドを確認します。 作業ディレクトリが正しいこと、および存在することを確認します。 コマンドライン引数を確認します。 ターミナルセッションが開いていて有効であることを確認します。
5006	無効なターゲット	ターゲットが見つからないか、ターゲットの種類が無効です。	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット名を確認します。 ターゲットの種類が動作のターゲットに一致することを確認

			<p>します。</p> <ul style="list-style-type: none"> サービス要求のタスク ID を確認します。 目的の Cloud Portal サービスのエージェントが開始されていることを確認します。 要求された Cloud Portal サービスの名前を確認します。 Cloud Portal サービス要求のパラメータを確認します。
5007	サービス要求のキャンセル	Cloud Portal サービス要求のキャンセルに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> VM の名前を確認します。 ターゲット VM の名前を変更します。 既存の VM の名前を変更します。
5008	すでに存在する VM	名前を持つ VM がすでに存在します。	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレスまたはホスト名が正しいことを確認します。 ICMP 要求に応答するようターゲットが設定されていることを確認します。 ファイアウォールが ICMP 要求をブロックしていることがあります。
5009	ping	IP アドレスへの ping に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ホスト名が正しいことを確認します。 DNS サーバのホストレコードが存在して正しいことを確認します。 Cisco Process Orchestrator サーバの DNS 設定が正しいことを確認します。
5010	NS ルックアップ	ホスト名の検証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ホスト名が正しいことを確認します。 DNS サーバのホストレコードが存在して正しいことを確認します。 Cisco Process Orchestrator サーバの DNS 設定が正しいことを確認します。
5011	ランタイムユーザの	ランタイムユーザの検出に失敗しました。	ランタイムユーザの名前が正しいこと、および存在することを確認

1	検出		します。
5012	ランタイムユーザの更新	ランタイムユーザの更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ランタイムユーザの名前が正しいこと、および存在することを確認します。 更新に対して指定されたプロパティが、ランタイムユーザの種類について正しいことを確認します。
5013	ランタイムユーザの削除	ランタイムユーザの削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ランタイムユーザの名前が正しいことを確認します。 ランタイムユーザがまだ削除されていないことを確認します。
5014	ターゲットの更新	ターゲットの更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット名が正しいこと、および存在することを確認します。 指定されたターゲットについて、ターゲットの種類が正しいことを確認します。
5015	ターゲットの削除	ターゲットの削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ターゲット名が正しいこと、および存在することを確認します。 ターゲットがまだ削除されていないことを確認します。
5016	無効な電源操作	無効な電源操作が指定されました。	オン、オフ、リセット以外の電源操作が要求されました。
5100	グローバル変数 - Cloud Portal Drop Location	空き (存在しません)。	グローバル変数 Cloud Portal Drop Location が空白であるか、無効な値が含まれています。
51	未使用		

0			
1			

6000 Cisco Network Services Manager (NSM) 関連の障害

エラーコード	関連動作	エラーの説明	可能な修復方法
6000	プロバイダーの作成	NSM でのプロバイダー作成に失敗しました。	
6001	テナントの作成		
6002	外部ネットワークの作成		
6003	TNC の作成		
6004	ゾーンの作成		
6005	外部ネットワーク接続の作成		
6006	ネットワークセグメントの作成		

7000 Cisco Server Provisioner 関連の障害

エラーコード	関連する動作とアクション	エラーの説明	可能な修復方法
7000	MAC 固有のプロビジョニングロールの作成	MAC 固有のプロビジョニングロールの作成に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ名前のロールが存在しないことを確認します。 • ロールパラメータが正しいことを確認します。
7001	MAC 固有のプロビジョニングロールの削除	MAC 固有のプロビジョニングロールの削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ロールの MAC アドレスが正しいことを確認します。 • ロールがまだ削除されていないことを確認します。

7002	操作のタイムアウト	操作が時間どおりに完了しませんでした。	操作の実行エラーが同時タスクが多すぎます。
7003	MAC 固有のプロビジョニングロールの検索	MAC 固有のプロビジョニングロールの検索に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ロールの MAC アドレスが正しいことを確認します。 • ロールが存在することを確認します。
7004	プロビジョニングロールテンプレートの検索	プロビジョニングロールテンプレートの検索に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • テンプレート名が正しいことを確認します。 • ロールが存在することを確認します。
7005	許可 APID の生成	APID の生成に失敗しました。	Cisco Server Provisioner 用のランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

8000 Cisco UCS または物理サーバ関連の障害

エラーコード	関連動作	エラーの説明	可能な修復方法
8000	UCS サービスプロファイルの関連付け	UCS サービスプロファイルの関連付けに失敗しました。	サービスプロファイル名とサービスプール名が有効で存在することを確認します。
8001	UCS VLAN と vNIC の関連付け	UCS VLAN と vNIC の関連付けに失敗しました。	vNIC 名、VLAN 名、またはネイティブ VLAN 名が有効で存在することを確認します。
8002	サービステンプレートへのプロファイルのバインド	サービステンプレートへの UCS サービスプロファイルのバインドに失敗しました。	サービスプロファイル名とサービスプール名が有効で存在することを確認します。
800	ブレードの電源投入	電源をオンにできません。	<ul style="list-style-type: none"> • ブレード名が正しいことを確認します。

03			<ul style="list-style-type: none"> UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。
8004	UCS サーバのブート	UCS サーバのブートに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> ブレード名が正しいことを確認します。 UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。
8005	未使用		
8006	未使用		
8007	テンプレートからの UCS サービスプロファイルの作成	テンプレートからの UCS サービスプロファイルの作成に失敗しました。	テンプレート名が有効で存在することを確認します。
8008	UCS サービスプロファイルの削除	UCS サービスプロファイルの削除に失敗しました。	サービスプロファイル名が有効で存在することを確認します。
8009	UCS サービスプロファイルの関連付けの解除	UCS サービスプロファイルの関連付けの解除に失敗しました。	サービスプロファイル名が有効で存在することを確認します。
8010	UCS VLAN と vNIC の関連付けの解除	UCS VLAN と vNIC の関連付けの解除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> サービスプロファイル名が有効で存在することを確認します。 VLAN が vNIC に関連付けられていることを確認します。
8011	未使用		
8012	UCS 管理対象オブジェクトの検出	UCS 管理対象オブジェクトの検出に失敗しました。	Cisco Server Provisioner 用のランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。

8013	未使用		
8014	未使用		
8015	未使用		
8016	UCS サーバ設定の取得	UCS サーバ設定の取得に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ブレード名が正しいことを確認します。 • UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。
8017	未使用		
8018	UCS サービスプロファイルの変更	UCS サービスプロファイルの変更に失敗しました。	サービスプロファイル名が有効で存在することを確認します。
8019	未使用		
8020	UCS サーバのリセット	UCS サーバのリセットに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ブレード名が正しいことを確認します。 • UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。
8021	UCS サーバのシャットダウン	UCS サーバのシャットダウンに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ブレード名が正しいことを確認します。 • UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。
	未使用		
8023	未使用		
8100	ブレードが未割り当て	ブレードが未割り当てです。	ブレードにプロファイルが割り当てられていません。プロファイルを割り

0			当ててください。
81001	ブレードが存在しない	ブレードが見つかりません。	<ul style="list-style-type: none"> • ブレード名が正しいことを確認します。 • UCS Manager がブレードと通信できることを確認します。 • ブレードがシャーシに挿入されていることを確認します。

9000 ハイパーバイザ関連の障害

エラーコード	関連動作	エラーの説明	可能な修復方法
90000	VM ハードディスクの追加	VM ハードディスクの追加に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • データストアに新しいディスクのための十分な空き領域があることを確認します。
90001	VM のクローニング	VM のクローニングに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 同時クローニングが多すぎます。既存のクローニング要求が完了するまで待機してください。 • データストアに十分な空き領域があることを確認します。
90002	VM ネットワークアダプタの追加	ネットワークアダプタの追加に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • 選択したポートグループがアップリンクポートグループではないことを確認します。
90003	VM の再設定	VM の再設定に失敗しました。	VM が電源オフの状態であることを確認します。
90004	VM ネットワークアダプタの更新	VM ネットワークアダプタの更新に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • ポートグループ名が正しいこと、および存在することを確認します。 • 選択したポートグループ

			<p>がアップリンク ポートグループではないことを確認します。</p>
9005	VM の電源オン	VM の電源をオンにできません。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM が電源オフの状態であることを確認します。
9006	Linux VM のカスタマイズ	Linux VM のカスタマイズに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VMware ツールがインストールされ開始されていることを確認します。
9007	VM ネットワークアダプタのクエリ	VM ネットワークアダプタのクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM にネットワークアダプタがあること、および有効なポートグループに接続されていることを確認します。
9008	VM の電源オフ	VM の電源をオフにできません。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM が電源オンの状態であることを確認します。
9009	VM ネットワークアダプタの追加	VM にネットワークアダプタを追加できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> • VM が電源オフの状態であることを確認します。 • 選択したポートグループがアップリンクポートグループではないことを確認します。
9010	VM ネットワークアダプタのクエリ	VM のクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM のフルパスが正しいことを確認します。 • VM が別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。
9011	VM デバイスのクエリ	VM デバイスのクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM のフルパスが正しいことを確認します。 • VM が別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。

9012	VM プロパティのクエリ	VM プロパティのクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM のフルパスが正しいことを確認します。 • VM が別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。
9013	Windows VM のカスタマイズ	Windows VM のカスタマイズに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VMware ツールがインストールされ開始されていることを確認します。
9014	VM のクエリ	VM のクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VM の名前が正しいことを確認します。 • VM のフルパスが正しいことを確認します。 • VM が別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。
9021	VM ハードディスクの更新	VM ハードディスクの更新に失敗しました。	VM が電源オフの状態であることを確認します。
9022	ホストの追加	ホストの追加に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter がホストと通信できることを確認します。 • ホストのユーザ名およびパスワードが正しいことを確認します。
9023	ホストの除去	ホストの除去に失敗しました。	ホストのホスト名が正しいことを確認します。
9024	VM ツールのアップグレード	VM ツールのアップグレードに失敗しました。	VMware ツールがインストールされ開始されていることを確認します。
9025	新しい VM の作成	新しい仮想サーバの作成に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • 同じ名前の VM が存在しないことを確認します。 • VM 名に空白文字または <> & [] " などの無効な文字が含まれていないことを確認します。 • データストアに十分な空

			き領域があることを確認します。
9026	VMの削除	VMの削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VMの名前が正しいことを確認します。 • VMのフルパスが正しいことを確認します。 • VMが別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。 • VMが電源オフの状態であることを確認します。
9027	リソースプールの列挙	リソースプールの列挙に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • リソースプール名が正しいことを確認します。 • リソースプールが存在することを確認します。
9028	スナップショットの復元	スナップショットの復元に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VMの名前が正しいことを確認します。 • VMのフルパスが正しいことを確認します。 • VMが別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。 • スナップショットが存在することを確認します。
9029	スナップショットの作成	スナップショットの作成に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VMの名前が正しいことを確認します。 • VMのフルパスが正しいことを確認します。 • VMが別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。 • データストアに十分な空き領域があることを確認します。
9030	スナップショットの削除	スナップショットの削除に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • VMの名前が正しいことを確認します。 • VMのフルパスが正しいことを確認します。 • VMが別のフォルダまたはリソースプールに移動されていないことを確認します。 • スナップショットが存在

			<p>することを確認します。</p>
9031	ネットワークの列举	ネットワークの列举に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • 拡張されたターゲット プロパティ vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します • (vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用) 。
9032	データストアの列举	データストアの列举に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • 拡張されたターゲット プロパティ vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します • (vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用) 。
9033	クラスタの列举	クラスタの列举に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • 拡張されたターゲット プロパティ vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します • (vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用) 。
9034	データセンターの列举	データセンターの列举に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • 拡張されたターゲット プロパティ

			<p>vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します</p> <ul style="list-style-type: none"> • (vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用)。
9035	ホストの列挙	VM ホストの列挙に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • 拡張されたターゲット プロパティ vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します • (vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用)。
9036	VM テンプレートのクエリ	VM テンプレートのクエリに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • vCenter ランタイム ユーザのユーザ名とパスワードが正しいことを確認します。 • vCenter ターゲットの [Extended Properties] タブを使用して、拡張されたターゲット プロパティ vSphere.PowerCLI.Password および vSphere.PowerCLI.User を更新します。
9037	VM ホストのメンテナンスモードの開始	メンテナンスモードの開始に失敗しました。	<p>実行中のすべての VM がホストから待避したことを確認します。</p>
9038	ホストのシャットダウン	シャットダウンに失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ホストのホスト名が正しいことを確認します。 • vCenter がホストと通信できることを確認します。
9039	VM ホストのメンテナンス	メンテナンスモードの終了に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ホストのホスト名が正しいことを確認します。 • vCenter がホストと通信

	モードの終了		できることを確認します。
9040	VM ホストプロファイルの適用	VM ホストプロファイルの適用に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> • ホスト プロファイルがホストに関連付けられていることを確認します。 • ホスト プロファイル名が有効で存在することを確認します。
9041	VM ホストプロファイルの関連付け	VM ホストプロファイルの関連付けに失敗しました。	ホスト プロファイル名が有効で存在することを確認します。
9042	VM ホストプロファイルの作成	VM ホストプロファイルの作成に失敗しました。	vCenter との通信に問題があるが、vCenter ターゲットのユーザ名またはパスワードが正しくありません。
9043	ホストのクエリ	ホストのクエリに失敗しました。	指定されたホスト名が vCenter 内の有効なホストであることを確認します。
9044	未使用		
9045	未使用		
9099	VMToolの確認	VMware ツールがインストールされていません。	VMware ツールがインストールされ開始されていることを確認します。
9100	ネットワークアダプタが見つからない	ネットワークアダプタが見つかりません。	VM にネットワーク アダプタがありません。ネットワークアダプタを追加します。
9101	未使用		
91	未使用		

0			
2			

システム健全性のエラー コード

VMware vCenter サーバ

接続テスト

Cisco Process Orchestrator 内で作成された VMware vCenter サーバ ターゲットおよびランタイム ユーザを検証します。 保管されたログイン クレデンシャルを使用して、VMware vCenter サーバ ターゲットに対する Cisco Process Orchestrator の接続性を確認します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
6101	接続されない。 VMware vCenter サーバへの接続に失敗しました。	接続の作成中に Cisco Cloud Portal に入力する VMware vCenter サーバの詳細を確認します。
6102	接続されない。 VMware vCenter サーバへの接続に失敗しました。	Cisco Cloud Portal 内に VMware vCenter サーバ ターゲットを作成するために指定される VMware vCenter サーバ ログイン クレデンシャルにアクセス権があることを確認します。

読み取りテスト

VMware vCenter サーバに存在する ESXi ホストにクエリを実行することによって、指定されたログイン クレデンシャルが VMware vCenter サーバへの読み取りアクセス権を持つことを検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
62	接続 (読み取り専用) : VMware	指定された VMware vCenter サーバのログイン クレデンシャル

01	vCenter サーバのログイン クレデンシャルが、VMware vCenter サーバからの情報を読み取れませんでした。	が VMware vCenter サーバ内の適切なオブジェクトへのアクセス権限を持つことを確認します。
----	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

書き込みテスト

Power CLI を使用して、VMware vCenter サーバ ランタイムが VMware vCenter サーバに書き込みアクセス権を持つことを検証します。書き込みアクセス権限は、オペレーティング システムを持たない小さい仮想マシンを作成し、作成された仮想マシンを削除することによって検証できます。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
6301	接続 (読み取り専用) : VMware vCenter サーバのログイン クレデンシャル (読み取りおよび書き込み用)。	指定された VMware vCenter サーバのログイン クレデンシャルが VMware vCenter サーバ内の適切なオブジェクトへの書き込み権限を持つことを確認します。
6302	接続 (読み取り専用) : ESXi ホストが見つかりません。	VMware vCenter サーバ内の ESXi ホストが、Cisco Cloud Portal 内のホスト名に一致するか検証します。ホストが一致しない場合、登録済みの VMware vCenter サーバにあるホストの検出のための cloudsync 検出を実行します。

[Cisco Server Provisioner](#)

接続テスト

Cisco Process Orchestrator 内で作成された Cisco Server Provisioner ターゲットおよびランタイム ユーザを検証します。保管されたログイン クレデンシャルを使用して、Cisco Server Provisioner ターゲットに対する Cisco Process Orchestrator の接続性を確認します。

エラー

エラー	エラーの考えられる原因	修復方法

コード		
7101	接続されない。 Cisco Server Provisioner への接続に失敗しました。	接続の作成中に Cisco Cloud Portal に入力する Cisco Server Provisioner の詳細を確認します。
7102	接続されない。 Cisco Server Provisioner への接続に失敗しました。	Cisco Cloud Portal 内で Cisco Server Provisioner ターゲットを作成するために指定される Cisco Server Provisioner ログイン クレデンシャルにアクセス権限があることを確認します。ユーザは root で、有効なルート パスワードを持つ必要があります。

読み取りテスト

プロビジョニング ロール テンプレートにクエリを作成することによって、指定されたログイン クレデンシャルが Cisco Server Provisioner に対する読み取り権限を持つか検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
7201	接続（読み取り専用）：読み取りと書き込みのユーザ クレデンシャル。	指定された Cisco Server Provisioner ログイン クレデンシャルが、保管されたプロビジョニング テンプレートに対する読み取り権限を持つことを確認します。
7202	接続（読み取り専用）：プロビジョニング ロール テンプレートが見つかりません。	Cisco Server Provisioner に少なくとも 1 つの Provisioning Template が定義されていることを確認します。

書き込みテスト

新しい MAC 固有のプロビジョニング ロールを作成し、作成した MAC 固有のプロビジョニング ロールを削除することによって、Cisco Server Provisioner ランタイム ユーザが書き込み権限を持つか検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
7301	接続（読み取り専用）：読み取りと書き込みのログインクレデンシヤル。	ログインクレデンシヤルが、適切な Cisco Server Provisioner への書き込み権限を持つか検証します。
7302	接続（読み取り専用）：Cisco Server Provisioner テンプレートが見つかりません。	Cisco Server Provisioner 内の Server Provisioner テンプレートが、Cisco Cloud Portal 内のホスト名に一致するか検証します。Server Provisioner テンプレートが一致しない場合、Cisco Server Provisioner にあるテンプレートの検出のための cloudsync 検出を実行します。

[Cisco UCS Manager](#)

接続テスト

Cisco Process Orchestrator 内で作成された Cisco UCS Manager ターゲットおよびランタイムユーザを検証します。保管されたログインクレデンシヤルを使用して、Cisco UCS Manager ターゲットに対する Cisco Process Orchestrator の接続性を確認します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
8101	接続失敗：Cisco UCS Manager に接続できません。	接続の作成中に Cisco Cloud Portal に入力する Cisco UCS Manager の詳細を確認します。

読み取りテスト

Cisco UCS Manager サーバ設定を読み取ることによって、指定されたログインクレデンシヤルが Cisco UCS Manager に対する読み取り権限があるか検証します。

エラー

エラー	エラーの考えられる原因	修復方法

コード		
8201	接続（読み取り専用）：Cisco UCS Manager サーバ設定を読み取ることができません。	指定された Cisco UCS Manager ログイン クレデンシャルが、適切な Cisco UCS Manager に対して読み取り権限を持つことを確認します。

書き込みテスト

ダミーのサービス プロファイルを作成し、作成されたダミーのサービス プロファイルを削除することによって、Cisco UCS Manager ランタイム ユーザが書き込み権限を持つか検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
8301	接続（読み取り専用）：読み取りと書き込みのユーザ クレデンシャル。	ログイン クレデンシャルが、適切な Cisco UCS Manager への書き込み権限を持つか検証します。

[Cisco Process Orchestrator](#)

接続テスト

指定されたログイン クレデンシャルを使用して、Cisco Process Orchestrator ランタイム ユーザが Cisco Cloud Portal ターゲットに接続できるか検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
9101	接続失敗：ランタイム ユーザを検証できません。	Cisco Process Orchestrator ランタイム ユーザおよびそのクレデンシャルを確認します。

読み取りテスト

Web サービス API を使用して Cisco Cloud Portal サービス項目データを取得することによって、Cisco Process Orchestrator のランタイム ユーザが Cisco Cloud Portal への読み取り権限を持つ

か検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
9201	接続（読み取り専用）：Cisco Cloud Portal からサービス項目データを読み取ることができません。	ランタイム ユーザおよび nsAPI ユーザのログイン クレデンシャルが、Cisco Cloud Portal へのアクセス権を持つか検証します。また、Cisco Process Orchestrator および Cisco Cloud Portal で Web サービスが使用可能かどうかとも検証します。

書き込みテスト

Cisco Cloud Portal Adapter を使用してサービス項目を作成または更新することによって、ランタイム ユーザが書き込み権限を持つか検証します。

エラー

エラーコード	エラーの考えられる原因	修復方法
9301	接続（読み取り専用）：読み取りと書き込みのユーザ クレデンシャル。	ランタイム ユーザと Cisco Cloud Portal アダプタのユーザ クレデンシャルが適切な Cisco Cloud Portal へのアクセス権を持つか検証します。また、Cisco Process Orchestrator および Cisco Cloud Portal サーバで Web サービスが使用可能かどうかとも検証します。

[システム健全性チェック](#)

[プラットフォーム要素の検証](#)

エラーコード	関連する動作とアクション	エラーの説明	可能な修復方法
50001	ターゲットの検出	ターゲットの検出に失敗しました。	指定した条件に一致するターゲットが存在することを確認します。

注：検証は、ステータスと要素の現在のステータスの説明を返すように設計されており、ターゲットが見つからない場合のみエラーを生成します。検証によって生成されるステータスと説明の一覧を次に示します。

ステータス	説明	可能な修復方法
接続されず	VCenter への接続に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> CP および PO で定義される vCenter を検証します。 ユーザ クレデンシヤルが適切な vCenter へのアクセス権を持つか検証します。
接続されず	読み取りと書き込みのユーザ クレデンシヤル。	ユーザ クレデンシヤルが適切な vCenter および適切なデータストアへのアクセス権を持つか検証します。
接続 (読み取り専用)	読み取り専用のユーザ クレデンシヤル。	ユーザは VCenter またはデータストアへの読み取り権限のみ持ちます。
接続 (読み取り専用)	サーバをプロビジョニングできません。	vCenter 理由コードが返されます。vCenter のドキュメントを参照してください。
接続済み	検証が成功しました。	
接続されず	UCS に接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> CP および PO で定義される UCS を検証します。 ユーザ クレデンシヤルが適切な UCS へのアクセス権を持つか検証します。
接続さ	読み取りと書き込み	ユーザ クレデンシヤル

れず	のユーザ クレデンシヤル。	が適切な UCS Manager へのアクセス権限を持つか検証します。
接続 (読み取り専用)	サービス プロファイル をプロビジョニング または作成できません。	これはほとんどの場合、サービス プロファイル をプロビジョニングする UCS 上でユーザが正しいロールを持っていないことが原因です。
接続済み	検証が成功しました。	
接続されず	CSP サービスに接続できません。	<ul style="list-style-type: none"> • CSP が CP および PO ターゲットで正しく定義されているか検証します。 • ユーザ クレデンシヤルが適切な CSP へのアクセス権限を持つか検証します。
接続されず	APID ユーザが存在しません。	ユーザは CSP 上の APID と関連付けられる必要があり、APID またはユーザが一致しないか見つかりません。
接続 (読み取り専用)	サービス プロファイル の作成に失敗しました。	APID に関連付けられたユーザが見つかったが、CSP にログインできませんが、サービス プロファイル を作成する権限がありませんでした。
接続済み	検証が成功しました。	

Orchestrator の確認

エラーコード	関連する動作とアクション	エラーの説明	可能な修復方法
5001	ターゲットの検出	ターゲットの検出に失敗しました。	指定した条件に一致するターゲットが存在することを確認します。

注：検証は、ステータスと要素の現在のステータスの説明を返すように設計されており、ターゲットが見つからない場合のみエラーを生成します。検証によって生成されるステータスと説明の

一覧を次に示します。

ステータス	説明	可能な修復方法
接続されず	CP Web ターゲットが到達不能です。	ターゲット名およびユーザクレデンシャルを検証します。
接続されず	RequestCenter DB にアクセスできません。	CP DB 設定を検証します。
接続 (読み取り専用)	CP 内の SI を作成または更新できません。	CP Web ターゲットへのアクセスに使用されるクレデンシャルが、CP 内で正しいレベルのアクセスを持っています。
接続 (読み取り専用)	接続に失敗しました。	CP Web ターゲットおよび Cloud Portal API の拡張されたターゲットプロパティに定義されたユーザが次のものであるか確認します。
接続済み	検証が成功しました。	

共有場所の確認

エラーコード	関連する動作とアクション	エラーの説明	可能な修復方法
5001	ターゲットの検出	ターゲットの検出に失敗しました。	指定した条件に一致するターゲットが存在することを確認します。

注：検証は、ステータスと要素の現在のステータスの説明を返すように設計されており、ターゲットが見つからない場合のみエラーを生成します。検証によって生成されるステータスと説明の一覧を次に示します。

ステータス	説明	可能な修復方法
接続 (読み取り専用)	CIM インポート障害です。	CP および PO の共有場所アクセスを確認し、ユーザクレデンシャルを確認します。
接続済み	検証が成功しました。	

Eメールの確認

注：CP内で設定されたSMTPサーバを経由して、指定されたユーザにEメールを送信します。

検証	説明	可能な修復方法
Eメール障害の検証、POがEメール検証に含まれていない。	Eメールが所定の時間内に受信されない場合、CP内で設定されたSMTPサーバが到達可能で完全に機能するか確認します。	Eメール検証が到達しない場合： <ul style="list-style-type: none">• CPによって使用されるSMTPサーバの設定を検証します。

クラウドインフラストラクチャの接続

クラウドインフラストラクチャの接続を実行中にHTTP 401 および HTTP 403 認証エラーを受け取る場合、POとCPの間のIIS認証方式を確認します。認証設定はCPエージェントとPO Webサービスについて同じであるべきです。

関連情報